

学校教育目標

「よく学び、心豊かでたくましい子どもの育成」

目指す子ども像

- 〔知〕 目標をもち、あきらめずにやり抜く子ども
- 〔徳〕 感謝の気持ちをもって生活できる子ども
- 〔体〕 心と体が健康でたくましい子ども

目指す学校像

- ・児童にとって通うのが楽しい学校
- ・安心、安全で保護者が子どもを通わせたい学校
- ・職員にとって働きがいのある学校

目指す教職員像

- ・下志津小の全ての子どもを大切に、支援する教職員
- ・教育に携わる者としての誇りと情熱をもち、学び続ける教職員
- ・多様な価値観を尊重しあい、人間としての魅力を生涯にわたって高める教職員

確かな学力の向上

- ・指導と評価の一体化
- ・佐倉型カリキュラムマネジメントの推進
- ・チャレンジタイムのさらなる充実
- ・言語活動の充実（朝読書、振り返りを自分の言葉で書く）
- ・目的を明確にした ICT 機器の活用

豊かな心の育成

- ・望ましい集団の形成、よりよい人間関係の構築（児童会活動、委員会活動、縦割り活動、合唱の充実）
- ・規律ある生活態度の定着
- ・いじめ防止対策の強化（情報・行動連携）
- ・道徳教育の充実・
・特別支援教育校内体制の充実、推進

健やかな体の育成

- ・「健体食」の連携による体力向上
- ・体力、運動能力の向上（年間を通じた体力作り、正課体育の充実）
- ・心の健康教育の充実と保健管理の徹底（早寝早起き朝御飯）
- ・食育の一層の推進（食に関わる内容の全学級・全学年への積極的な関連）

子どもたち
一人ひとりの人生の礎
下志津小学校



教職員の心身の健康保持

- ・安全衛生委員会による主体的検討と実践
- ・勤務時間の客観的管理
- ・会議、業務推進の効率化、ICT 機器、環境の活用
- ・「学校」の役割と責任の明確化

持続可能な地域連携

- ・現代社会の変化を踏まえた地域連携の在り方についての検討、実践（学校運営委員会から学校運営協議会への移行）
- ・保護者との情報共有、連携の工夫
- ・積極的な情報発信と学校評価

学校経営の基本方針

- (1) 子どもたちに現代社会を生き抜く力をつけるため、「子どものためになるかどうか」を基本とすることと併せ、「当たり前」の見直しを大切にし、教職員の Well Being を踏まえて判断基準としていく。
- (2) 子どもたちの心身の安全、安心を担保しつつ、下志津小学校の過去・現在と未来を融合させた「新しい下志津スタンダード」を構築・実践していく。
- (3) 「学校運営協議会」の機能を生かし、学校教育、家庭教育、社会教育のそれぞれの役割を確認しながら、「持続可能な連携」の在り方を検討・構築していく